

2020年2月3日

一般社団法人 堺市薬剤師会
尾島会長様

ベルランド総合病院 薬剤部
星 育子

保険薬局研修会（2020年2月1日開催）アンケート結果

1. アンケート回収率

参加人数	16名
回収枚数	16枚
回収率	100%

2. アンケート結果

5段階評価（5. とてもよい 4. よい 3. ふつう 2. わるい 1. とてもわるい）

項目	とてもよい	よい	ふつう	わるい
1. 内容は理解できるものでしたか	11	5	0	0
2. 場所の設定は適当ですか	8	6	2	0
3. 開始時間は適当ですか	7	7	1	1
4. 所要時間は適当ですか	8	7	1	0
5. テーマに関心がそそられましたか	11	5	0	0
6. 講師は適当でしたか	12	3	0	0
7. 今後の業務の中で生かすことができますか	11	4	1	0

希望するテーマなどその他のご意見

- ・ 患者さんへの関わり方、コツなども教えていただけて良かったです。
- ・ とても有意義でした。
- ・ 明日からの業務に生かしたいと思います。
- ・ 受け入れ体制はあるが、処方があることがないため実践機会がないのが不安。
- ・ ベルランド総合病院における退院時共同指導の実績や進め方を聞きたい。
- ・ 入院中に中止になった薬の理由も書いてあれば、退院後再開する必要があるのか分るので、元の病院に戻ってからの処方チェックにつながる
- ・ 病院と薬局では患者さんの対応も異なってくるが、どのように話を引き出せるか工夫していくことは同じと思いました。

今回の研修会では、医師から「1枚の処方箋から始まる緩和ケア～オピオイドの処方から患者さんを知り、聴き、見るためには～」というテーマで、がん患者の病態生理から痛みを引き起こす誘因、医療用麻薬に使い分けや初めて麻薬を使用するときに気をつけてもらいたいことなど解りやすく講演して頂きました。また薬剤師からは、「がんの患者は、オピオイドで依存症にはならない？」という内容で、緩和ケア領域のトピックスでもあるがん患

者のコーピングや嗜癖について症例を交えてお話させていただきました。この数年、がん治療が飛躍的に進化し、がん患者の長期生存が可能となってきています。そのため、今までよりも長い期間医療用麻薬を服用することが稀ではなくなり、がん患者の依存の問題が取りざたされています。研修会を通して、保険薬局の先生方とも協力し合いながらより良い患者ケアにつなげていければと感じました。

今後ともご教示を賜りますようお願い申し上げます。